

モモトカミキリモドキ

澄川の駐車広場に咲いているハルザキヤマガラスに変な虫が来ていました。地味な暗い藍色で小さいハナカミキリのように見えますが、後脚の腿がやたらと太いのです。後で調べてモモトカミキリモドキのみだと判明しました。何ゆえみだけの腿が太い必要があるのか？後脚に何らかの力を使う必要があるのでしょうか。ハナカミキリの仲間のような按配ですが、和名に



モドキが入っています。カミキリモドキ科に属し、「札幌の昆虫」には 8 種が掲載されています。この科の虫たちはカンタリジンという毒素を持っていて、体液が皮膚につくと水ぶくれになるようです。この時はカメラのレンズを近づけただけで、触らなかったので被害はありませんでしたが、くれぐれも素手では掴まないことをお勧めします。甲虫に属していますが、カミキリたちとは違い外殻は柔らかいらしいです。強く掴むと潰れて体液が絞り出されますから、皮膚につくと被れることになるようです。他に特徴としては上翅の先の方の会合線に隙間があり前翅が見えています。体長は 5.5~8 ㍉、出現は 4~7 月。分布は日本全土とされています。成虫は黄色い花を好んで蜜や花粉を食べるようです。幼虫は極めて粗食で朽木や枯れススキを食べて育つらしいです。朽木ならば澄川の森に腐るほどあります。どんどん食べておくんない。



♂



♀